

県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2020
12
vol.276



オール福島

デイリースhow開催!

福島県乳牛改良推進協

議会（会長 安齋利勝）主催によるオール福島デイリースhowが、十月二十八日（水）に本宮市の福島県家畜市場において開催されました。今回は新型コロナウイルス感染症防止対策を行いながら、参加者の安全性を確保するよう様々な対応を取りながらの開催であり、参加者の皆さんの協力なくしては開催することができませんでした。

当日は二十五頭の愛牛が県内各地より集まり、審査員には（一社）家畜改良事業団 前橋種雄牛センター 次長 石濱賢氏を迎え、未經産三部門、経産三部門の計六部門に分かれ審査が行われました。

各部厳正な審査の結果、見事グラントチャンピオンの栄冠には福島市の鈴木寛悟さん所有の「ヒルトンス

テージ ラスター ブラット ET」号が、リザーブグラントチャンピオンには磐梯町の足利秀忠さん所有の「バンダイデール ソロモン エランド」号が、準リザーブチャンピオンには福島市の鈴木寛悟さん所有の「ヒルトンステージ アルマーニ ユマーナ RED」号が選ばれました。本共進会開催にあたり、福島県をはじめ関係団体、各メーカー様からのご後援やご協賛を賜り、盛大に開催できましたことに心より感謝を申し上げます。





グランドチャンピオン
ヒルトンステージ ラスター プラット ET号
出品者:鈴木 奨悟 氏



リザーブグランドチャンピオン
バンダイデール ソロモン エランド号
出品者:足利 秀忠 氏

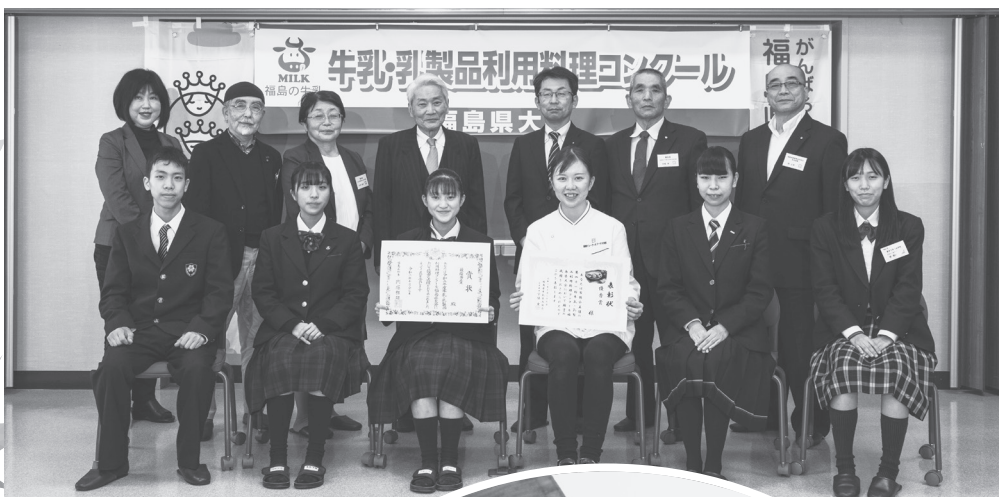


準リザーブチャンピオン
ヒルトンステージ アルマーニ ユマーナ RED号
出品者:鈴木 奨悟 氏



牛乳・乳製品利用料理コンクール

福島県大会開催



最優秀賞 「おらげのみそスイートポテト」
あさか開成高校2年 大内綾乃さん (17)



福島市松川町の福島県学校給食会を会場とし、県内の高等学校・短大・大学・一般の方より応募いただき、七八〇名七八六作品の中から書類審査を通過した六名により、牛乳・乳製品利用料理コンクール福島県大会が、十月二十七日(火)に開催されました。

当日は出場者のピンと張りつめた緊張感で、審査員も相当なプレッシャーがかかっていたようです。

六名の中から今年度の最優秀賞には、あさか開成高校の大内綾乃さん(十七)が考案した、「おらげのみそスイートポテト」が選ばれました。大内さんの作品は、牛乳とバター、自宅で育てたサツマイモを使用し、表面に自家製のじゅうねんみそと柚子みそを塗り、健康を意識して仕上げた作品です！畑中審査員長は「二種類のみその塩味がサツ

マイモの甘みを引き立てており、飽きのこないすばらしい作品となっている。」と評価しました。皆さんも是非レシピを参考に作っていただき、ご家族で食べてみてください。

尚、最優秀賞以外の入賞者は次のとおりです。

優秀賞

濃厚！明太みるくあんかけ焼きそば

三浦彩乃さん

(国際ビューティー&フード大学校)

優良賞

紺野将矢さん(福島西高校)

佐藤和花さん(耶麻農業高校)

堺愛純さん(喜多方東高校)

鈴木禎菜さん(あさか開成高校)

どの作品も力作ぞろいで、見た目も味も素晴らしい出来栄でした。

毎年開催している東北大会についてですが、今年度は新型コロナウイルスによる影響で中止となっております。来年度の開催については未定となっておりますが、コロナウイルスが終息し、無事開催できることを祈るばかりです。

令和3年1月吉日
 福島県酪農業協同組合

組合員 各位

肥料早期予約キャンペーンのご案内

新春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より当組合事業に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、現在メーカーの協力により早期予約キャンペーンを実施中です。期間後は通常価格となりますので、この機会に是非ご利用ください。

1. キャンペーン期間 令和2年12月1日～令和3年1月29日注文分まで
2. 引き取り期間 令和3年2月末日までに引き取り（早い引き取りほど割引大）
3. 品目・価格 下記に一部掲載（税別） ※詳細は配布した案内をご覧ください。
 200 kg、300 kg、400 kg T Bは更にお安く提供させて頂いております。
 価格は農家配達価格となります。

片倉コープアグリ

品名	規格	成分	通常価格	1月価格	2月価格
				▲60	▲40
デントコーン342号	20kg	15-20-10-3	1,955	1,895	1,915
カリレス30号	20kg	14-14-0-2	1,415	1,355	1,375

全酪連

品名	規格	成分	通常価格	1月価格	2月価格
				▲60	▲40
全酪BB252号	20kg	12-15-12	1,840	1,780	1,800
全酪BB303号	20kg	13-20-13	1,720	1,660	1,680
全酪BB386号	20kg	13-18-6	1,650	1,590	1,610
全酪NP12号	20kg	10-20-0	1,685	1,625	1,645
全酪カリレスNP18号	20kg	8-18-0-5	1,755	1,695	1,715
全酪NK806号	20kg	18-0-16	1,545	1,485	1,505
全酪BB422号	20kg	14-12-2	1,810	1,750	1,770
全酪BB223号	20kg	12-12-3	1,770	1,710	1,730
全酪BB304号	20kg	13-20-4	1,625	1,565	1,585

4. 注文先 各支所・事業所・酪農総合センターまで

以上

令和元年 台風十九号酪農総合センター水害に係る支援金 お礼報告について



令和元年において足寄町農業協同組合には来組いただき多額の支援金をいただいております。新型コロナウイルスの影響でお礼の挨拶が遅れておりましたが、今般役員研修の際にお礼を目的に同組合を訪問致しました。

本組合の宗像組合長から新津組合長へ感謝状を贈呈させていただきました。今後の自然災害対策として本所事務所の増築を予定していると挨拶をいたしました。

また、足寄町農業協同組合の新津組合長他三名の方に懇親会に出席を頂き、情報交換と懇親を深めました。

育成牛管理の違いが将来の乳生産に影響する?!

シリーズ2 育成牛の給与飼料について

今回は育成牛の給与飼料についてご紹介します。

育成牛に給与する餌は、体高を大きくし、胃袋を作る大事なものです。制限した給与をすることなく、お腹いっぱい食べさせるようにしてください。

【哺育牛】 出生時～離乳まで

生まれたばかりの新生子牛は、菌や感染に対して無防備で、体内にいつ細菌が入ってもおかしくない状況です。その為、最初の2週間が重要な時期となります。子牛の死（主に下痢）が発生する時期であるとも言えることから、より注意深い管理が必要となります。初乳給与だけでなく、給与する器具にも目を向けて、汚染されていない清潔なものを利用してください。



飼料給与Point

- ・生まれた子牛への初乳給与は、出生後6時間以内に4L給与する。
- ・早めのスターターや乾草給与で、ルーメンの発達を促す。
水を与えることも忘れずに！
- ・母牛の移行乳を給与する際は、殺菌処理を適正に行い（パスチャライザー等）牛白血病や大腸菌等を不活化し、疾病リスクを低減する。

<初乳給与>

- ・子牛が生まれたら、出生後6時間以内に4Lの初乳を給与します。
(できれば1時間以内に2L、6時間後に2L給与する。さらに24時間以内に2L追加給与する)
→腸での抗体吸収効率は、出生直後が最もよく、その後急激に低下します。
初乳には免疫グロブリンの他に、多くの栄養および非栄養成分（インスリン、IGF-1、その他のホルモン）が含まれており、これらの成分は腸の発達に大きく関与しています。



自分が飼養している牛の初乳には、どのくらい免疫グロブリン (IgG) が含まれているのだろうか？

⇒Brix計を利用すれば、初乳に含まれる免疫グロブリン (IgG) 含有量を測定することが可能です。良質な初乳給与を心掛けましょう。
良質な初乳：Brix 24%以上が目標です。

★夜中に分娩があり搾乳できない…などありましたら、
代用初乳をうまく利用するのも一つです。

全酪連では、代用初乳「グッドスタート」を扱っております！



Brix計

<スターター給与>

遅くとも生後3日目からスターターを給与します。

スターターに含まれる穀類発酵で生産される酪酸が、ルーメンの発達を促進します。

子牛に早くからスターター（穀類）を給与すると、3～4週間でルーメンは非常に大きく発達してきます。ルーメンの発達の為にも早期給与を心掛けてください。

食べ残したものは毎日廃棄し、新鮮なスターターを給与します。
初めは食べないと思いますので、手で給与するなど少しづつ慣らしていきましょう。

※注意！ スターターは、搾乳牛飼料とは成分が異なります。
子牛に搾乳牛飼料を給与しないようにしてください。



全酪連で取り扱っているスターター

<乾草給与>

スターター給与を始める頃から、柔らかく・短い（子牛が食べやすいように5cm程度に切断したもの）草を給与します。遊び草から始め、徐々に乾草に慣らしていきます。

※注意！ 乾草を給与していないと汚れた敷料を食べ始めることがあります。

<水の給与>

スターター給与と同時に、常に新鮮な水を供給します。

ルーメン内に水分がないと、スターターは発酵しません。なので、スターターを給与する際は、忘れずに水を給与してください。



餌を与える時は、飼料バケツと水バケツの交差汚染を防ぐために、離して置くか、仕切りを使って物理的に離して設置しましょう。



！ 離乳際にご注意ください！

離乳時のストレスは、子牛にとってとても大きくなります。

しっかりスターター（2.0～2.5Kg）を食べるようになってから離乳しましょう。

また、ミルクが飲めないことでストレスを感じている為、離乳後1ヶ月間は、移動等の環境的ストレスも避けるようにしてください。

【育成牛】 離乳後～分娩まで

育成牛は、大人になる為に大きく成長する時期です。

体高の伸びは早期に発現し、体高の伸びの50%は6～7ヶ月齢までに達成されます。

また、出生から12～13ヶ月の期間は、成長速度が最も速く、アミノ酸の利用効率が最も高い時期です。

成長に見合った栄養バランスを満たすためにも、**育成牛専用の飼料**を利用しましょう。

飼槽が空になることがないように、常に餌や水を置き、好きな時に自由に摂取できる環境を作ります。



「エネルギーは牛の体重増加を、タンパク質は体高を伸ばす。」
と
言われているよ！

飼料給与Point

3～6カ月齢（体高110cm～）

- ・スターターから育成牛専用飼料（2.0～2.5Kg）に切り替え、しっかり成長させる。
- ・ルーサン・チモシーなど高品質な乾草を組合せて給与する。
（サイレージは、胃袋が発達しておらずうまく利用できないので避けましょう）

7～12カ月齢（体高127cm～）

- ・この月齢からサイレージなどを利用できる。
- ・場合によっては、CP16～17%の成牛用配合飼料を利用可能。

**快適な環境をつくった上で、
お腹いっぱいご飯を食べさせてあげましょう。**



生産基盤推進室コラム

12月

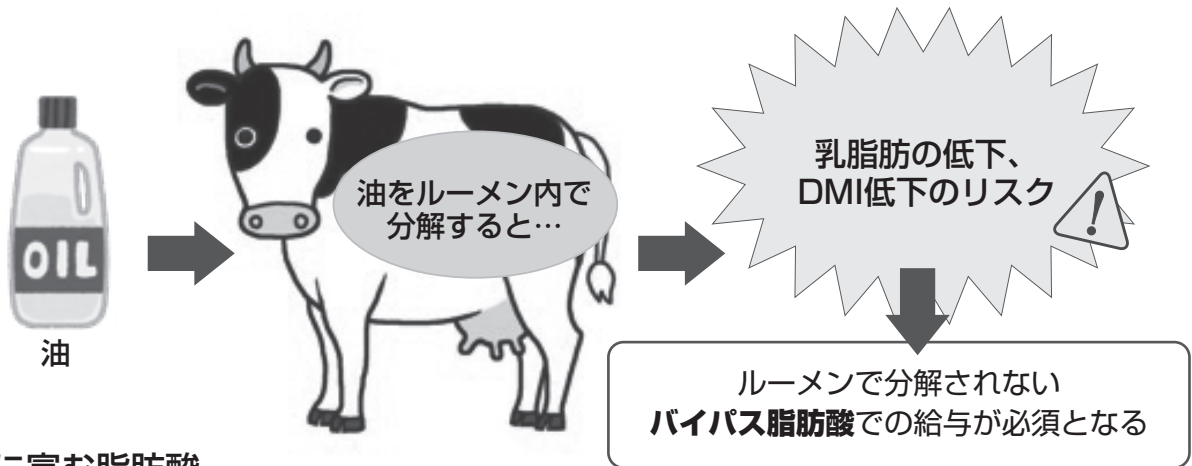
牛の処方箋～脂肪酸～

夏場の乳脂肪対策、繁殖改善、乳量増への期待等、脂肪酸添加の効能を酪農家さんなら1度は聞いたことがあると思います。今月号は脂肪酸が牛に与える恩恵やデメリットについて詳しく説明していきたいと思えます。

油を牛にあげると…

脂肪酸とは正しく給与すれば非常に有用な飼料です。しかし通常、脂肪酸とはルーメンとの相性が悪く、ルーメン内で分解されると、乳脂肪の低下・乾物摂取量の低下が起こるリスクがあります(図1)。そこで利用されるのがバイパス脂肪酸です。バイパス脂肪酸とはルーメン内で分解されないよう加工された脂肪酸のことで、乳牛の脂肪酸添加剤のほとんどがこのバイパス脂肪酸の形態をとっています。バイパス脂肪酸の普及により、乳牛への脂肪酸給与はメジャーになり、昨今では多種多様な脂肪酸添加剤が流通するようになりました。

図1.



多様性に富む脂肪酸

脂肪酸と一口に言っても、実は多数の種類が存在し、それぞれ特徴を持っています。下の表では、酪農において代表的な5つの脂肪酸を紹介したいと思います。

名称	パルミチン酸	ステアリン酸	オレイン酸	リノール酸	リノレン酸
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・飽和脂肪酸 ・乳脂肪の増加 ・繊維の消化率を上げる ・乳脂肪組成において最も多い割合を占める(31%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・飽和脂肪酸 ・乳量・乳成分の増加 ・乳腺以外の臓器での利用率が高い ・多量に小腸に流入すると、脂肪酸全体の消化率を下げる可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・不飽和脂肪酸 ・乳量増加の可能性 ・他の脂肪酸の消化吸收をサポートする ・体重・BCSを回復させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・不飽和脂肪酸 ・PGの前駆物質に変化し、卵胞の発育と黄体機能の促進、分娩後の子宮の回復や発情回帰を促す ・多給は乳脂肪低下のリスクあり 	<ul style="list-style-type: none"> ・不飽和脂肪酸 ・PGの合成、放出を抑制し、黄体の退行による早期胚死滅を防ぐ ・多給は乳脂肪低下のリスクあり

飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸

上の表の用語として、飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸について補足いたします。脂肪酸とは分子の結合の仕方によって飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸の2つに大別されており、乳牛にとって不飽和脂肪酸とは乳脂肪の低下を招くリスクがあるため、夏場等乳脂肪が低下している状態での給与の際は注意が必要です。

脂肪酸を多く含む飼料



綿実

綿実は約20%の脂肪酸を含んでおり、リノール酸が50～60%、次いでパルミチン酸が20～30%の脂肪酸組成となっています。配合飼料に幅広く使用されていますが、バイパス脂肪酸ではなく、不飽和脂肪酸割合も高いため、単味での多給には注意が必要です。



大豆

大豆は約20%の脂肪酸を含んでおり、リノール酸が50%を超える脂肪酸組成となっています。綿実と同じく不飽和脂肪酸の割合が高く、多給によって過肥の危険性もありますので要注意です。飼料としては油を搾った後の大豆粕（DM中脂肪含有2.2%）での流通がメインです。



脂肪酸添加剤

上述したバイパス脂肪酸での形態がほとんどです。様々な用途に合わせて上表の脂肪酸が組成されており、各飼料メーカーから多種の添加剤が販売されています。

脂肪酸の用法用量

多種多様な脂肪酸にはそれぞれの効果があること、種類によってはデメリットが生じることを上記の内容でご理解いただけたかと思います。脂肪酸とは薬のようなもので正しい用法用量というものが存在します。実際の給与ガイドラインでは脂肪酸の給与は飼料乾物中5～6%を上限としております。これ以上の給与は多給とみなされ、たとえバイパス脂肪酸でも乾物摂取量の低下やルーメン内微生物増殖の阻害といった弊害が生じてきます。

また脂肪酸添加剤を使用しない場合でも、飼料中に約3%ほどの脂肪は存在します。つまり残りの2～3%が脂肪酸添加剤の給与可能量となりますが、あくまで脂肪酸添加剤は薬であるという位置づけを忘れず、通常のメニューで栄養が充足されていることがベストであるということを念頭に置いていただければと思います。また脂肪酸添加剤も安価なものではないため、脂肪酸の多給に注意を払うのは牛自身の心配をするだけにはとどまりません。

今月号では牛と脂肪酸の関係について説明しました。飼料乾物中5～6%というガイドラインも示しましたが、実際に農家さん自身が手計算で脂肪酸の給与量を定めるといことは難しいかと思しますので、そのような場合はぜひ生産基盤推進室にお問い合わせください。飼料設計ソフトにて脂肪酸給与量の設定等が可能ですのでお力になれるかと思えます。また乳脂肪低下等の問題に直面している、脂肪酸添加剤給与の検討をしているような場合も最適な脂肪酸添加剤の選択をお助けします。今月もありがとうございました。

ZENOAQ コーナー Vol.192



これからが本番 「下痢・肺炎」対策

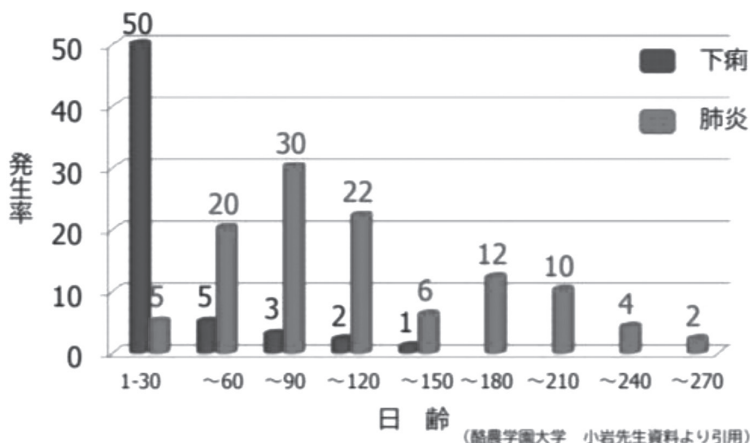
〒963-0196
 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1
 日本全薬工業(株) 福島営業所
 TEL024-945-2306 FAX024-945-9345

☆妊娠末期60日間の栄養管理・疾病管理が子牛の健康状態を左右する！！

「子牛の免疫」というと初乳の品質や量、給与までの時間など、どちらかというとな分娩後の子牛側の管理に目が行きがちです。しかし、現実には初乳を受け入れる子牛の消化管や腸管粘膜の発育状態等は、母体内での胎児の成長と大きく関係しています。

特に妊娠末期には胎子が、急激な発育をすることから、母牛には胎子への栄養やミネラルが必要になりますが、これらが不足状態にあると、生まれた子牛の活力がなく疾病のリスクが高まります。

☆下痢・肺炎の発生日齢の違い！！

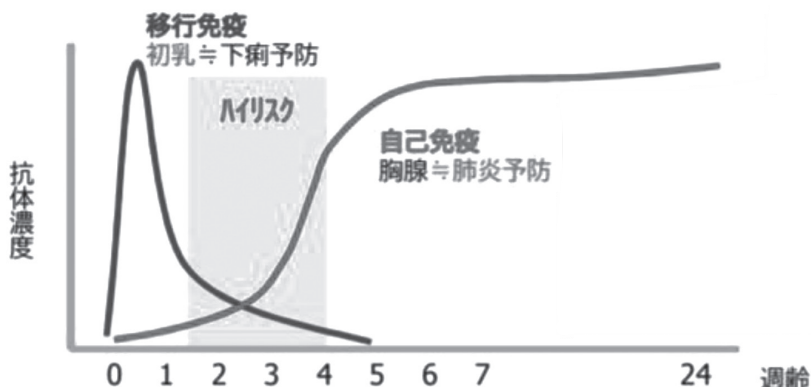


○左のグラフは下痢と肺炎の発生日齢を表しています。

下痢は出生後30日までが多くその後はほとんど発生しません。しかし、肺炎は30日以降から多発します。それは何故でしょうか？

左下のグラフを見て下さい。下痢は母牛からの移行免疫（初乳の質と量）によって予防することができます。肺炎は自己免疫（胸腺）によって予防が出来ます。

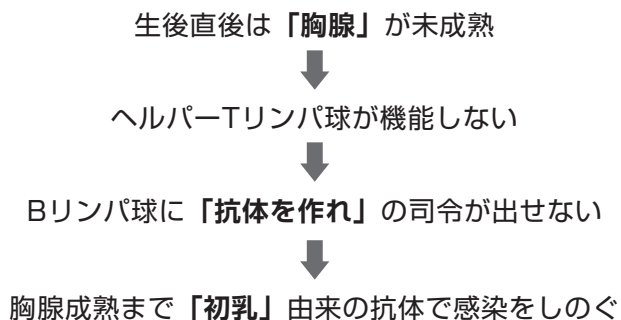
☆初乳移行免疫と自己免疫



ポイント！！

胸腺は子牛の自己免疫の産生にとって大切な血液免疫細胞（リンパ球）を産生する臓器です。この自己免疫細胞から産生される自己免疫の強さは、胸腺の大きさに比例します。

☆胸腺と初乳との関係

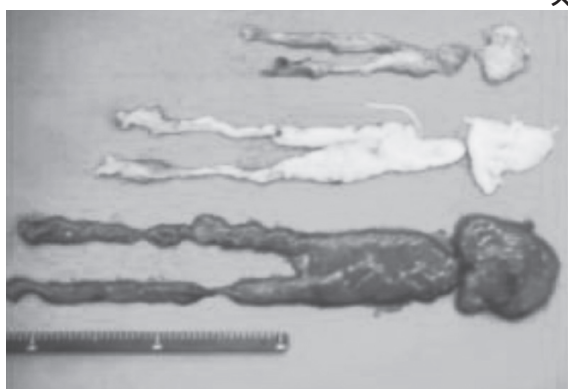


ポイント！！

初乳は子牛の免疫が動きだすまでの身代わり免疫

胸腺はTリンパ球を一人前に育てる臓器

☆胸腺の大きさ比較



胸腺スコア

胸腺は、胎齢4ヵ月で形成され、出生時にはおよそ150g（体重の0.4%）程度の大きさを保有しており、生後10～15ヵ月齢で最大となり、24ヵ月齢には完全に退化してしまう臓器です。

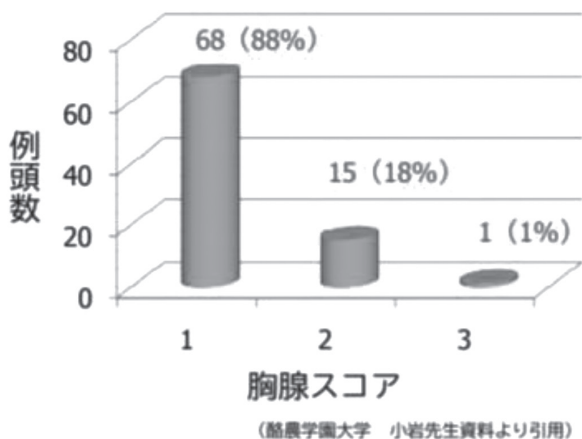
☆胸腺の位置



胸腺の位置及び触れ方

子牛の胸腺は胸部（心臓の前部）と頸の下の2カ所に分かれて存在しています。健康な子牛では肩に近い下頸部を手で触れると、気管の両側に存在し容易に確認することができます。

☆胸腺スコアと肺炎リスク



☆健康な子牛≡病気をしない子牛

胸腺のしっかりした免疫能の強い健康な子牛を生ませるためには、母牛の健康状態と分娩前60日間における栄養レベル特にタンパク質やビタミン・ミネラルの充足が必要で、ストレスのない快適な環境のもとで適確な飼養管理を行うことが重要です。

上記の管理が出来ると、「初乳の抗体を受け入れるための腸管の成熟」と「生まれてからの免疫機能を左右する胸腺の発育」を獲得することができます。



全酪連の小窓 12月号 自給牧草を使いこなそう



お鍋がおいしい季節になりました。この前配合飼料を電子レンジで温めてみたところ煙が出てきました。牛に温かいものを食べさせるのは難しそうです。皆様も火事にはお気を付けください。

さて、今回は皆様が頭を悩ませる自給粗飼料問題と、クレイングラスのキャンペーンについて紹介いたします。

今年は長雨により、農家さんによっては「牧草の収量が伸び悩んだ」「刈り遅れにより品質が低下した」という声を伺っています。

- ・ 牧草が足りず購入飼料を買わざるを得ない
- ・ 嗜好性が悪く量が食えない
- ・ 栄養成分が低い

などの問題で生産性が下がってしまうことも考えられます。

今回は牧草の量が足りない場合、質が悪い場合に生産性を落とさずに乗り生きる方法を考えてみました。

①飼料分析

まずは牧草を分析にかけ、特徴をつかみましょう。

牧草の成分値は飼料計算にも必要になります。全酪担当者や県酪職員までお問合せ下さい。

②給与の組み合わせを工夫する

- ・ 輸入粗飼料との併用

量が足りない、嗜好性が悪い場合は、給与量を減らして輸入粗飼料との併用をお勧めします。

飼料の頻繁な変更は牛が体調を崩す原因となります。量が少ない場合は給与量を減らし、なるべく長い期間給与し続けるのが理想です。嗜好性が悪い場合も輸入粗飼料が繊維の底支えとして機能してくれるでしょう。

- ・ ビートパルプ等の繊維源の併用

刈り遅れの自給粗飼料は消化性の繊維が少ない傾向にあります。ビートパルプを用いることで、乳量や乳成分への影響を少なくすることができます。

③給与方法を工夫する

嗜好性の悪い粗飼料は引き込みが増えるなどして採食量が低下してしまいます。細かく裁断したり、給与回数を増やすなどの工夫で採食量を増やすことが望めます。

**給与方法や給餌メニューでご不明な点がありましたら、全酪連スタッフ
や福島県酪職員へご相談ください!**

ZENRAKUREN



ZENRAKUREN



クレイングラス

コロナを吹き飛ばせ！

生産者応援キャンペーン

ついに丑年がやって来ました！
 コロナ禍で暗いニュースが多い昨今ですが、活気で吹き飛ばし、クレイングラスでギュギュっと最高の1年のスタートを切りましょう！

キャンペーン内容

期間 R3. 1 / 1 ~ R3. 2 / 28

価格 通常価格よりトン当たり**3,000円の値引き**

※上記期間中の引取り分がキャンペーン価格対象となります。

クレイングラス 5つのポイント

高CP易消化性繊維

クレイングラス



※全荷姿対象

- 1 茎が細く、葉が多くて、柔らかいため嗜好性が良い(暑熱対策に)
- 2 他のイネ科牧草と比較して高蛋白質
- 3 イネ科牧草中で最も低リグニン/NDF優れた消化性(暑熱対策に)
- 4 K濃度は高いが、CI濃度も高いため低DCAD=乾乳牛へも安心して給与が可能
- 5 他の草種と比較し刈取ステージによる成分のブレが少ない

お問い合わせは

福島県酪農業協同組合 購買畜産課・各支所／事業所
 または、全酪連スタッフまでお気軽にお寄せください！！



乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

2020年10月31日現在

区 分	酪農家戸数					乳 牛 頭 数							
	戸数	前年度戸数	前年比	育成	初妊	経産牛				合計	前年度頭数	前年比	1戸当り頭数
						乾乳妊娠	妊娠搾乳	空胎搾乳	小計				
県北支所	戸 35	戸 36	% 97.2	頭 545	頭 250	頭 191	頭 382	頭 883	頭 1,456	頭 2,251	頭 2,291	% 98.3	頭 64.3
県中支所	71	77	92.2	344	167	159	326	831	1,316	1,827	1,890	96.7	25.7
浜支所	7	8	87.5	93	29	27	50	126	203	325	346	93.9	46.4
県南支所	40	42	95.2	694	294	244	568	1,074	1,886	2,874	2,817	102.0	71.9
県酪合計	153	163	93.9	1,676	740	621	1,326	2,914	4,861	7,277	7,344	99.1	47.6

区 分	月別分娩予定頭数							販 売 乳 量				
	2020 11月	2020 12月	2021 1月	2021 2月	2021 3月	2021 4月	2021 5月	生乳 出荷 戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
									1日当り	1日1戸 当り	搾乳牛	経産牛
県北支所	頭 132	頭 122	頭 120	頭 141	頭 112	頭 100	頭 95	戸 35	kg 33,469	kg 956	kg 26.5	kg 23.0
県中支所	93	111	89	79	105	80	95	71	29,052	409	25.1	22.1
浜支所	20	14	19	12	11	12	18	7	5,241	749	29.8	25.8
県南支所	133	175	155	166	143	140	194	40	43,820	1,096	26.7	23.2
県酪合計	378	422	383	398	371	332	402	153	111,582	729	26.3	23.0

令和2年度受託乳量の状況

令和2年10月の受託乳量は、県全体で前年比98.0%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,458トンの前年比99.0%（対前年同37トンの減）、全農県本部は1,604トンの対前年比95.9%（対

前年同月68トンの減）の実績でありました。

東北生乳販連の受託販売実績については、前年比100.6%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比101.8%となりました。

令和2年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

東北全体の用途向け販売数量は、前年比で加工向けが154.8%、学乳向けが105.7%、酪酪乳向けが104.4%と上回り、飲用向けが97.0%、生クリーム向けが74.2%、チーズ向けが89.2%と下回って推移しました。春先からのコロナ禍で人の移動が制限され、脱脂粉乳・バター在庫が大きく積み上がりました。業務用牛乳の消費が落ち込み、家庭用牛乳消費に大きな減少は無いものの、全体として飲用向け販売が減少し、加工向け処理量が増加しました。

業務用牛乳の動きが回復しないなか、更なる家庭用牛乳の需要喚起が必要になっています。引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大に皆さまのご協力をお願い致します。

なお、今月の酪王乳業の生乳使用量は日量平均51.4トン（前年比98.5%）で、本組合生産量の46.0%、県全体生産量の31.5%と処理量となりました。

令和2年度10月別支払乳価表

令和2年度の販売乳価は、全用途で前年度価格据え置きとなりました。

飲用向け販売量が減少し、加工向け販売量が増加したために、プール乳価は前年より45銭6厘下がりました。しかし、補給金、集送乳調整金はその分増加し、補給金含めた乳価は前年より26銭9厘まで下落幅は圧縮されました。

■東北全体プール乳代金 4,370,072千円 単価111.561円
 ■内 福島県分プール乳代金① 491,732千円 単価111.561円
 プール対象外乳代金② 94,010千円
 (学乳向け・買取向け乳代金)

合計乳代金①+② 585,742千円 単価115.712円

項目	令和2年10月	前年同月	増減	前々年同月
プール乳価	112円650	113円106	-0円456	107円102
補給金単価	0円643	0円502	0円141	0円441
集送乳調整金単価	0円196	0円150	0円046	0円130
合計	113円489	113円758	-0円269	107円673

(注)上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

(東北全体10月)

用途別	販売乳量(t)	日量(t)	前年比(%)	シェア(%)	前年度シェア
飲用向け	29,485	951.0	97.0	70.2	72.8
加工向け	2,580	83.0	154.8	6.1	4.0
学校給食向け	2,800	90.0	105.7	6.7	6.3
醗酵乳向け	6,457	208.0	104.4	15.4	14.8
生クリーム向け	497	16.0	74.2	1.2	1.6
チーズ向け	153	5.0	89.2	0.4	0.4
合計	41,972	1,353.0	100.6	100.0	100.0

備考

1) 買取乳量を除く

団体別受託乳量の状況

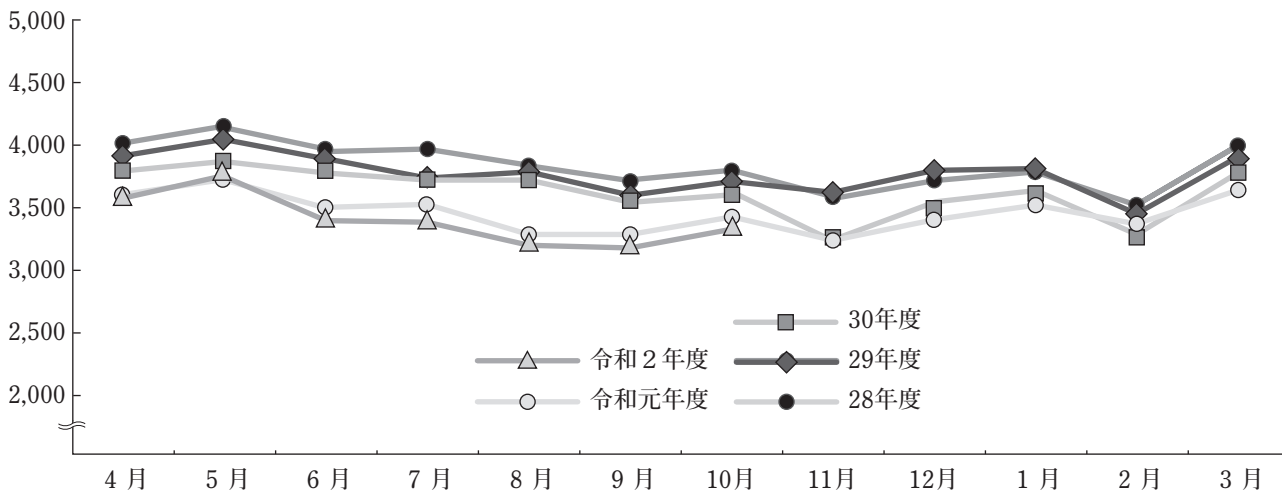
北海道：102.5%、都府県：100.9%

団体名	10月分		
	受託乳量(t)	日量(t)	前年比(%)
県酪協	3,458	111.5	99.0
全農福島県本部	1,604	51.7	95.9
合計	5,062	163.2	98.0
東北生乳販連	41,972	1,353.9	100.6
全国	581,956	18,772.8	101.8

月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	4,094	4,231	4,025	4,029	3,894	3,717	3,839	3,664	3,822	3,889	3,576	4,031	46,811
29年度	3,958	4,132	3,940	3,880	3,778	3,622	3,740	3,637	3,797	3,820	3,498	3,948	45,750
30年度	3,865	3,927	3,768	3,758	3,757	3,565	3,617	3,385	3,572	3,687	3,369	3,818	44,091
令和元年度	3,661	3,736	3,526	3,528	3,380	3,391	3,495	3,349	3,477	3,589	3,442	3,735	42,310
令和2年度	3,642	3,739	3,495	3,482	3,363	3,310	3,458						
前年比%	99.5	100.1	99.1	98.7	99.5	97.6	99.0						

単位・トン



年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年 度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	平均
令和2年度	108.959	110.268	113.694	113.625	112.257	114.269	113.489						
令和元年度	107.825	109.442	110.235	109.707	109.001	110.834	113.758	112.804	110.935	111.470	112.026	108.238	110.523
30年度	105.316	106.566	107.245	106.734	104.684	108.041	107.673	107.183	104.902	105.545	106.664	104.358	106.242
29年度	105.107	106.247	107.367	106.918	104.637	107.789	107.187	107.002	104.876	105.603	106.317	104.647	106.141
28年度	105.156	106.012	106.878	105.825	104.876	107.459	107.162	106.517	104.921	105.823	106.675	104.617	105.993

第301回 県酪協乳牛市場成績

令和2年11月13日開催

購買者数 23名（うち県外13名）

区分	畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)
ET和牛 初生牛	ET和牛	メス	0 (100)	0 0	0 ()	0 ()	0 ()
		雄	12 (100)	547,000 287,000	462,750 (101)	93 (80)	4,954 (126)
	乳 牛	メス	3 (100)	55,000 15,000	31,667	51	617
		雄	60 (100)	161,000 45,000	96,217 (159)	74 (104)	1,296 (153)
	交雑牛	メス	67 (97)	236,000 30,000	191,866 (126)	75 (99)	2,573 (129)
		雄	80 (99)	302,000 31,000	205,600 (133)	79 (100)	2,610 (133)

価格：円（落札価格） 率・比：％ 体重：kg

初生牛の畜種毎価格帯別分布表 （0は0.1～0.9万円、1は1.0～1.9万円、以下同様。尚、落札価格です。）

畜種	雌雄	価 格 帯 (万円)																											
		<28	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56		
ET和牛	メス																												
	雄	1	1	1														1	1		2	1	2		2				
畜種	雌雄	価 格 帯 (万円)																											
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24			
乳 牛	メス		1	1			1																						
	雄					2	6	6	7	5	5	10	3	6	7	2		1											
畜種	雌雄	価 格 帯 (万円)																											
		<5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
交雑牛	メス	1				1	2		2	3	1	3	1	3	4	5	12	10	14	5									
	雄	1				1					2		8	4	14	3	8	8	13	7	2	2	3			2	2		

組 合 の 動 き 11 月

11月2日	県中支所運営委員会	11月19日	第八次中期計画座談会 県中支所
11月4日	役員研修（北海道方面）		（会津）
～6日		11月20日	東北生乳販連理事会
11月9日	令和2年度上半期定期監査（支所）	11月20日	全国酪農協会理事会（WEB）
11月10日	令和2年度上半期定期監査（本所）	11月24日	安全運転講習会（第2回目）
11月11日	ミルキー図画コンクール審査会	11月24日	酪王乳業㈱取締役会
11月12日	ヘルパー利用組合理事会	11月24日	㈱らくのう乳販取締役会
11月12日	福島県下農業委員会大会	11月24日	三役・委員長会議
11月13日	乳牛せり市場	11月25日	県酪グループ戦略会議
11月13日	東北生乳販連販売委員会	11月25日	全酪連理事会（WEB）
11月15日	北棚塩地区住民説明会	11月25日	第8回経営検討会
11月16日	日本ホルスタイン登録協会理事会 （WEB）	11月26日	第八次中期計画座談会 県南支所
11月17日	安全運転講習会（第1回目）	11月27日	第7回理事会
11月18日	第八次中期計画座談会 県中支所 （県中央）		

理 事 会

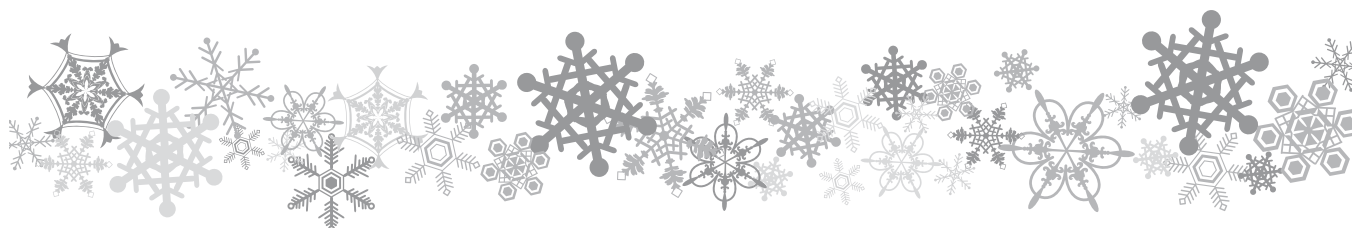
第7回 11月27日

議 案

報 告 事 項

- 議案第1号** 令和2年度第2・四半期事業実績報告並びに部門別損益報告並びに定期監査報告について
- 議案第2号** 令和2年度年末手当の支給について

- 1) 畜産環境整備リース事業の貸付申請について
- 2) 子会社の令和2年度第2・四半期事業報告について
- 3) 経営検討農家の現状について
- 4) 今後の日程について

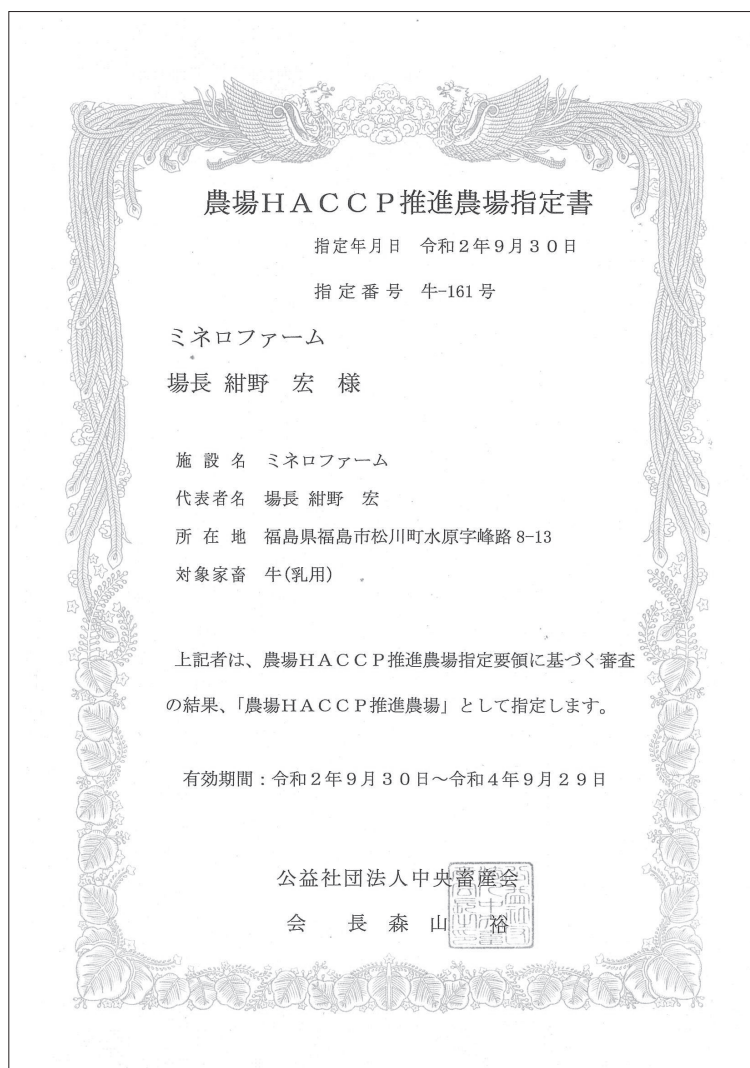


ミネロファームが農場 HACCP 推進農場に指定される

令和2年9月30日付で、ミネロファームが農場HACCP推進農場に指定されました。「農場HACCP認証農場」取得への取組を支援するため、飼養衛生管理等の向上を目的として農場HACCPに取り組み、一定の要件を満たす畜産農場を、「農場HACCP推進農場」として公益社団法人中央畜産会が指定しております。

福島県での指定は、乳牛部門においては初となります。おめでとうございます。

今回の指定は、ミネロファームの日々の努力の賜物だと思います。今後は、農場HACCP認証を取得できるよう、応援しております。



『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由（ほっと(^o^)/する話題がいいですね）
 ◎文章だけでも結構です。
 ◎写真があると最高です。
2. 受付（常時受け付けしています）
 メール・FAX・支所経由・直接持参、何でもOKです。
E-mail : yuuki-saitou@fukuraku.or.jp・FAX0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 岡 正宏

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里壇17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL <http://www.milk.fukushima.jp>